

R18漫画
90P

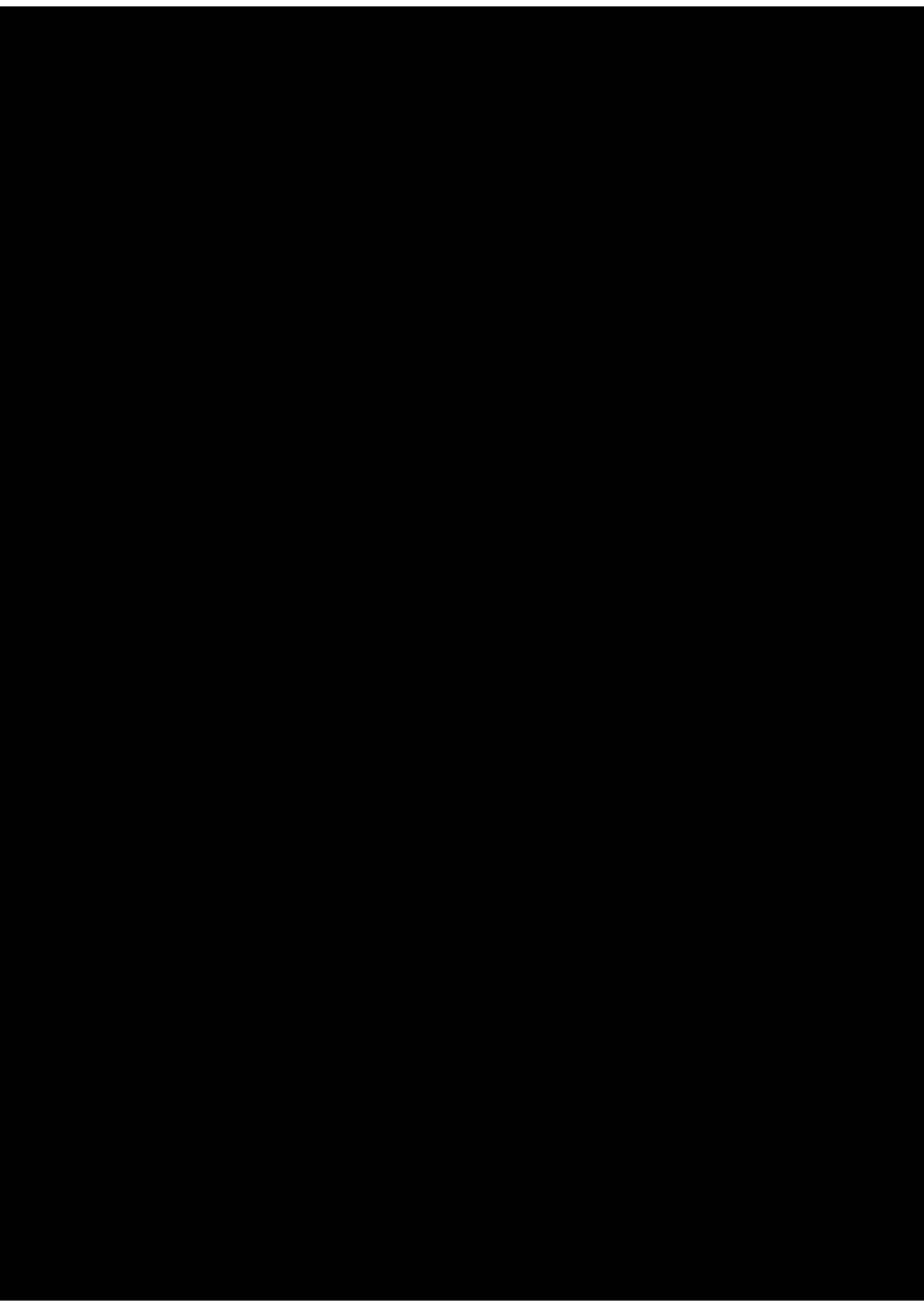
#中出し
#デカ乳
#生ハメ



ズン

ズン





◇
「私の身体好きに使っていいですよ..」の続きになります！
♡ シリーズを読んでいなくても大丈夫！



■お兄さん

節操がない。
無限の精力をもつハゲ。



← いっぱいSEXするよ~!!
せーそうねえ!!

■種沢まもり(姉)

彼女、最近あっていなかった久しぶりに会う。たのしみ♪
お兄さんが好き。ななみが好き。



← 最近おっぱい大きくなった♡
何かっぴになたでしよう~!?

■種沢ななみ(妹)

妹、お姉ちゃんのこと好き。
お姉ちゃんに手を出させないように体を張って
お兄さんの相手をしてきた。最近お兄さんに思うことあり



← 体がムチムチになってきた♡
えいおナニーをするよっ

ざっ！ざっ！

前回までのあらすじ

主人公は、海でナンパされていたところを助けたことをきっかけに、"種沢まもり(茶髪の子)"と付き合い始めセックスライフを送っていた。



しかしある日、まもりが突然実家に帰ってしまい、寂しさを感じていた主人公のもとにまもりの妹"種沢ななみ(黒髪の子)"が現れる。



妹とも肉体関係を持ってしまった主人公は、その後も妹との関係が続けながら姉に会うため妹と一緒に実家へ向かう。



姉の帰宅を待つ中、ムラムラが抑えられなくなった主人公は妹の部屋で妹と再びセックスしてしまう。



そして——その最中に、姉が帰ってきてしまう…

ヤバイ!!



お兄さん

お兄さん
どうしたの...?



ただいま

あー疲れた
久しぶりに学校行ったら...

種沢さんだ

相変わらず
でけえ

ねえねえ
何してたの

彼氏できたって
聞いたけど

みんな帰してくれ
ないんだもんなく



もしかして...

びびり

びびり
びびり







ムムム…お

…お兄さん
溜まってるない？

うず

うず

うず

うず

うず

うず

うず

え



お母さん外で
夜ご飯食べてくるって
言ってたし…

お母さん
帰ってくるんじゃないよ
隣にななみちゃん
もいるし…



でも
そろそろ



私とエッチ
したくないの…??

お兄さんはっ…



素直だよ♡

したい…です



ななみもいつも
スマホゲーム
イヤホンつけてるから
こっちの声
聞こえなくなるから大丈夫



やわらかい唇が亀頭に…ツ

ちゅ♡

ちゅ♡

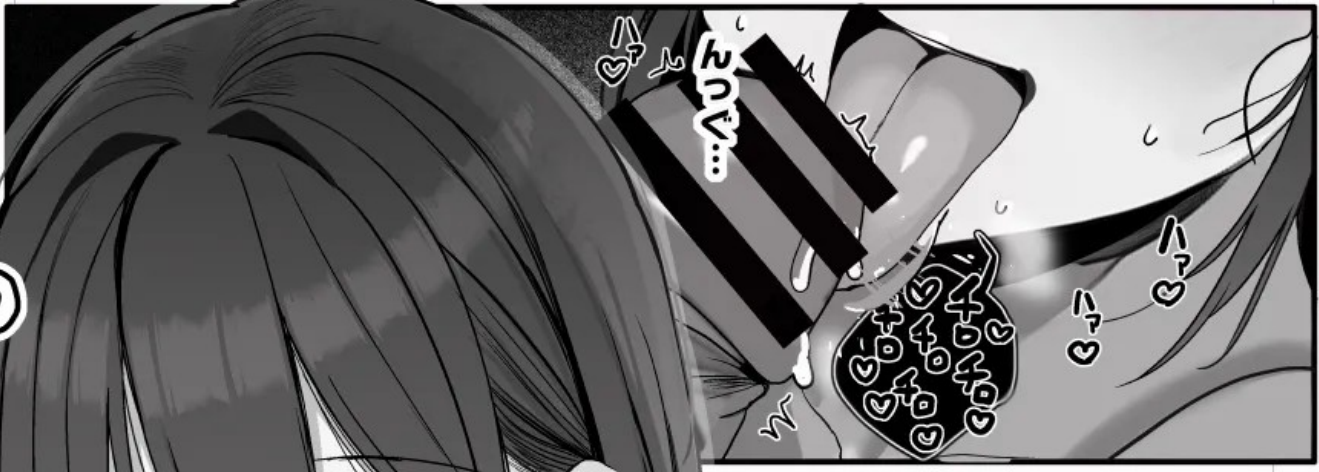


うッ…舌が
ちんこと皮の間を

うッ♡

かりの部分
をそんなツ

ちゅ♡



ハ♡

ちゅ♡



ほら準備万端♡

むわあ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ほらお兄さん
本番しよ♡

さ、流石に
隣の妹さんにバレ…

あいかわらす
お兄さん

私が種的にいかないと
ダメなだから

あーん♡

わっ

お兄さんの
久しぶりのおちんちん…♡

じゃあほりほり
入れていくよ♡

あーん♡
あーん♡



おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡

んっ入って
きた…♡

さきっぽ
おちんちん♡

ぬっ♡
おちんちん♡
おちんちん♡

んっ♡
おちんちん♡
おちんちん♡

入った♡

ぬっ♡
おちんちん♡
おちんちん♡

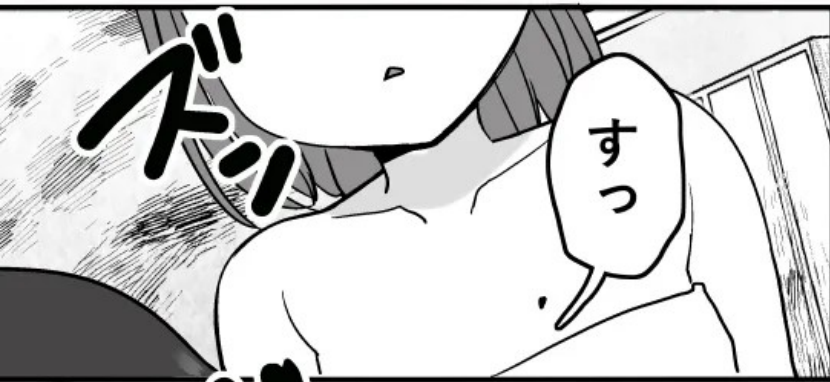
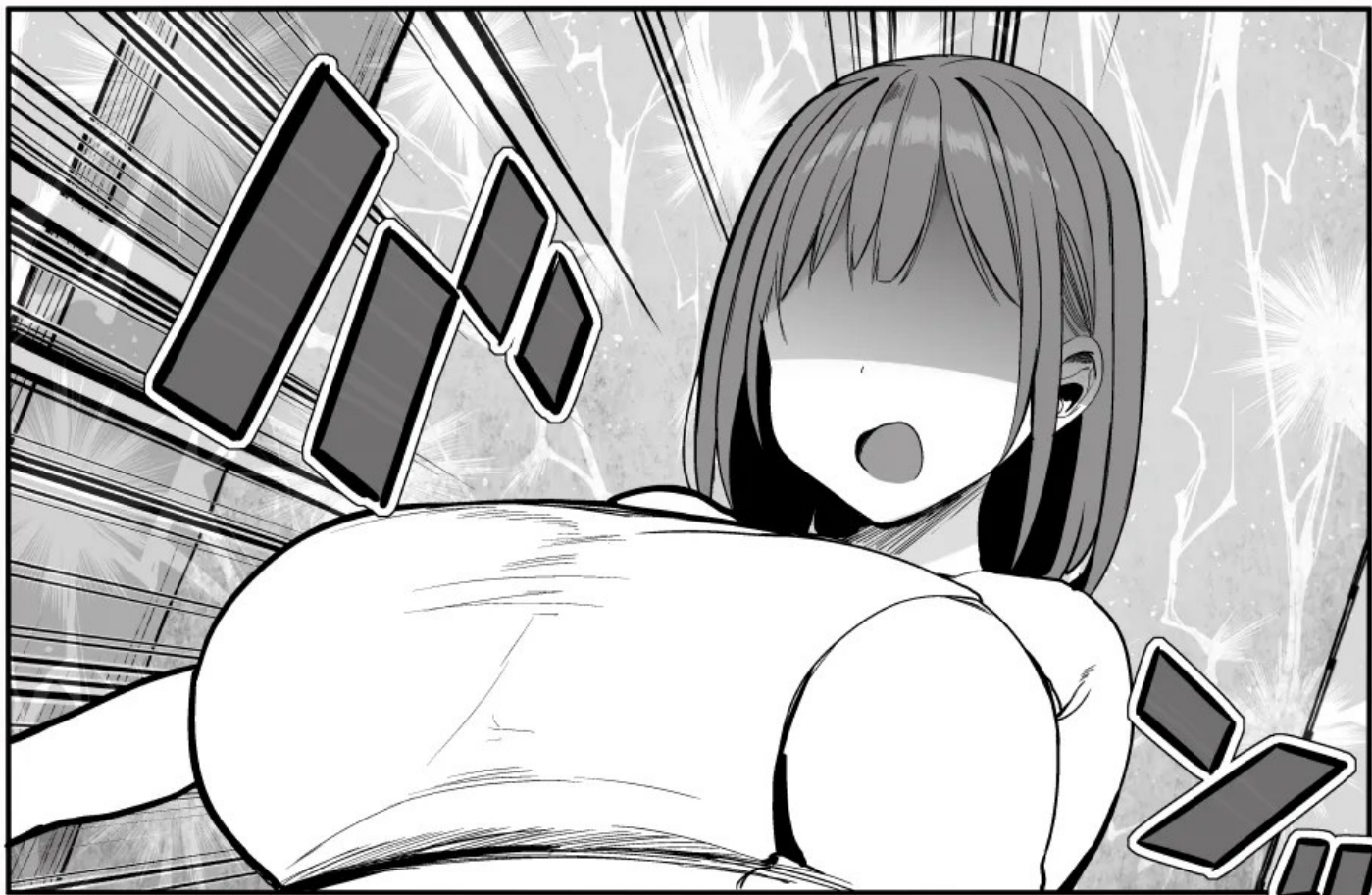
どうですか
私の久しぶり子宮♡
気持ちいいですか？♡

おちんちん
見えなくなっちゃったね♡

ガッ♡
ザッ♡
ズッ♡

んっ♡
おちんちん♡
おちんちん♡

ガッ♡
ザッ♡
ズッ♡





土下座



探決!

ななみの好きな
お兄さんが好き

だから許します

私はななみの
事が好き



だからお兄さんは
ななみを気持ちよく
させてあげて

えっ



それでいいの…

姉はこういう人
ではあります…

しし
しし

可哀想だよ♥

本物のおちんぽが
隣にあるのよ
♡♡♡♡♡♡♡♡

ほらかなみの
おまんこ♥

こーんなに
ぐちゃぐちゃ♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡

お、お姉ちゃん…っ

♡♡♡♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡♡♡♡





ななみ凄い顔…
はじめてみたよ
お姉ちゃん…♡

やッッ見ないで…ッ

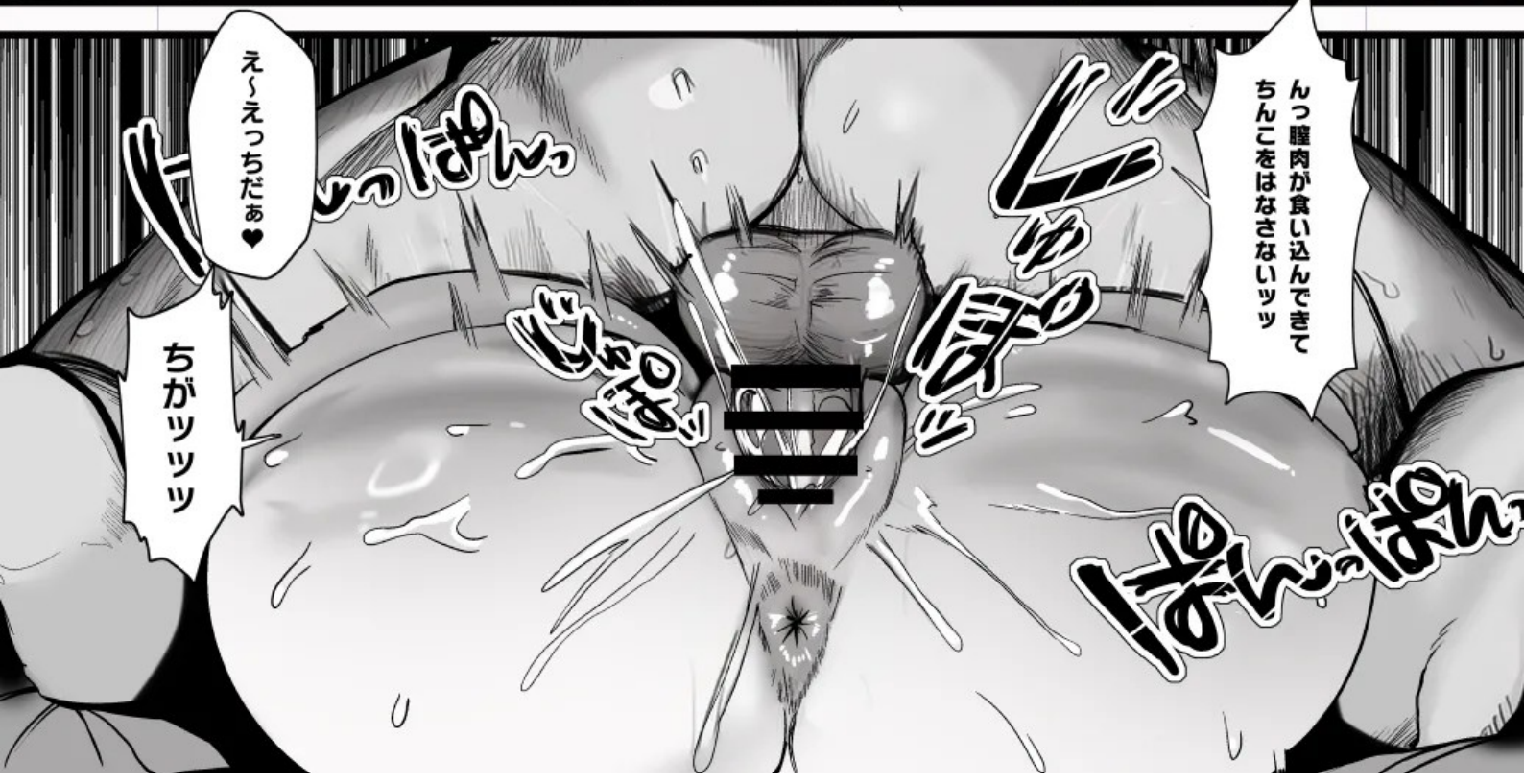
お兄さんもななみも
気持ちよさそ〜

ななみのまんこも…

んっ腫肉が食い込んで
ちんこをはなさないッ

え〜えっちだあ♡

ちがッッ



「く、こんな下品な服…」

「じゃーん
どうかな…♡」

「お兄さん興奮してる、
コスプレ大好きだもんね♡」

「ピキニが食い込んで
まったく…んっ」

「ほりちゃんもまた
ハキハキになりましたか？」

「えっちなキアルが
ぬきぬきしてあげるからね」





んっ…♡
お兄さんの物の
精子作って下せろ…

お兄さんのとりえは
そこじゃないですか

あうあう

ちゅちゅ♡

ちゅちゅ♡

ちゅちゅ♡

もーななみったり
そんなにお兄さんの
おちんちん好きなの♡

ち、違います…



じゃっききはわたしの番ね♡



違いますか…♡

んっ♡
入った…♡

この子の
好きなんです…♡

この子の
可愛さ♡

もう、お尻を
叩いてみたから…♡

お尻を
叩いて♡

~~~~~

たのしい♡

お尻を  
叩いて♡

お尻を  
叩いて♡

お尻を  
叩いて♡

お尻を  
叩いて♡

お尻を  
叩いて♡

お尻を  
叩いて♡



ねえ、こっちは見て  
気持ちいいわね♡

おかしく  
なっちゃってる顔♡

おちんちん  
ぐちゅぐちゅこ  
音立って…

グイッ

もう我慢できないの？

もっと興っ…  
んっ♡突き上げて…

一番気持ちいいところ…

かーせ♡

お♡

頭真っ白になる  
…しっ…やっご…

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

ぐちゅぐちゅ

気持ちよかったね  
お兄さん…♡

ゴク  
ゴク  
ゴク  
ゴク

おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡  
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡  
ほ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡  
ほ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡  
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡  
おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡おちんぽ♡





じゃあ  
次いくよ

っ……顔  
近い……

っ……はあ……  
やだ……そっ……

奥まで……

ほんと  
口は悪いけどっ  
まんこの締めりは正直だなっ

そんな気持ち  
よなよな顔して



別に……気持ちよく  
なんて……っしてない……

嘘……

ズ  
ズ



いっしょに  
いっしょに  
いっしょに

おほおほ

なッッ



おほおほ  
おほおほ  
おほおほ

おほおほ  
おほおほ  
おほおほ

おほおほ  
おほおほ  
おほおほ

おほおほ  
おほおほ  
おほおほ





久しぶりの海だ〜  
晴れて良かったね  
お兄さん♪

ああ

まあまあ

はぁ私こういう場所  
苦手なんですよね…

そうやう  
この海でお兄さんと  
出会ったんだよ

…  
そうなんですか

ザシ...





ほんとだ  
誰もいないですね

?

どほり  
こっからこっち



誰か来たよってか  
おめえらさうさだ  
おめえらさうさだ

...

もじ  
もじ

もじ



ちよろとらららっ

この前来た時  
みつけたの

ここ穴場なんだよ

もじ



じゃーんじりかな  
この水着…♥

大事なところ  
丸見えなんだよ♥

あ  
お  
お  
お

お兄さん…♥



んじり  
あんまり  
ひじりなんだよわ〜

んじり  
♥お兄さん♥



こんな下品な水着  
ほんとに最低…

そんなジロジロ  
みないでください…

もわ♡  
♡あ



こ、このくらい  
誰も来ないんですよ…  
岩陰になってるし

まじ

まじ













こんなの中に着てたから  
もじもじしてたのか

お前が着た  
かったんだろ

そ、そんなわけ

でもこんなに  
まんこしめて...

おっぱい

おっぱい

おっぱい

...姉が着てっぺん

それはめい

ななみ濡たかったん  
だもんね

ちがッ

おっぱい





ちゃんと、私の中で...  
感じてくれますか?

うん...やほこ  
やほこ...腰挿すの気持ちいい...



次は私の番ですよ  
お兄さん♡

ああ...



わっお兄さん力もち♡  
ふふっ...気持ちいい?

よーっか





ほーらお兄さん♥  
がんばったおちんちんに

二人でご褒美あげる♥

びゅーびゅー♥

びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー

びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー  
びゅーびゅー

んんん

おんんん

んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん  
んんん

お兄さん我慢してる顔  
キモイですね…

ほら射精射精

なかなか  
でないですね

じゃあ…♥





こんなのですい  
射精するミ

気持ちいい

おまのこに  
おこいおれぬ...  
おまのこに  
おこいおれぬ...  
おまのこに  
おこいおれぬ...

んっ

どっちが妊娠  
しちゃったのかわかんない

したら...

おまのこに  
おこいおれぬ...

びび  
ゆるるるるる  
ゆるるるるる



貴女にしたいわね...♡



心配だから  
俺も行ってくるよ

分かりました  
先に着替えて来ます

シャワー浴びた  
ら...



あー腹乾いた  
飲み物買ってくる〜

お兄さんのも  
買ってくるよ♪

あ、ありがとう



ハハハ

ハ？...

ねえねえ



まもりさん〜  
ちよっとまって！





あんなにしてんだ

フツ

何を教えてくれるんだ？

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ため…っ

あぁ…

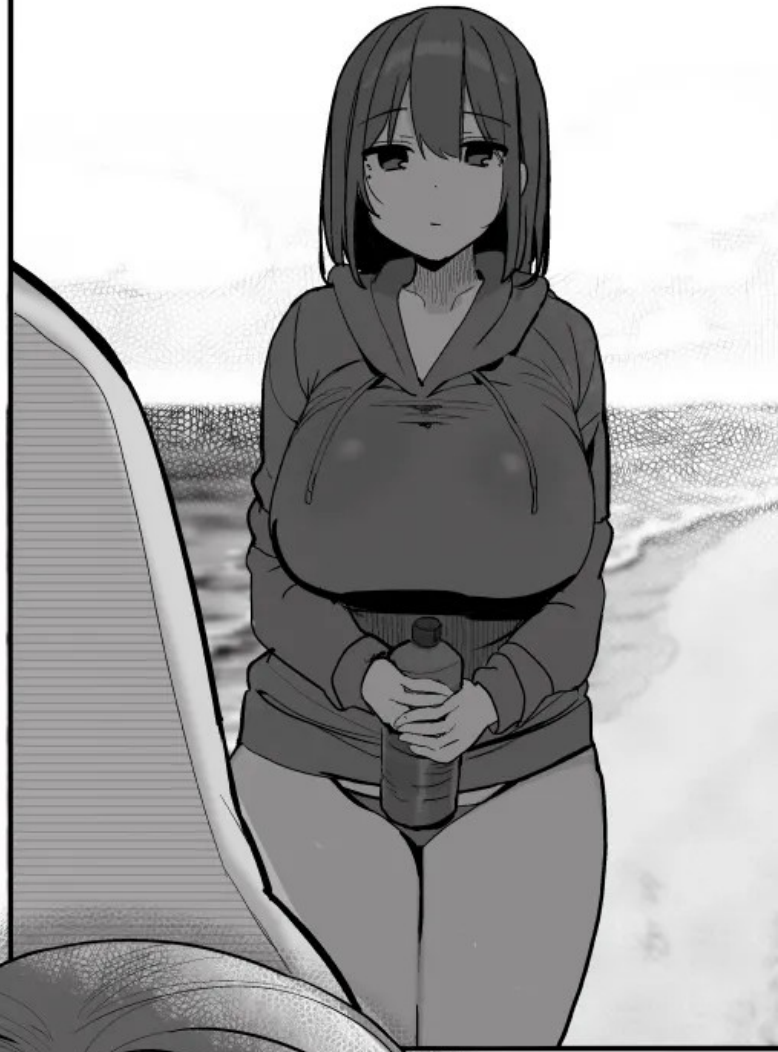
いいこうぜ  
きみわりィ

フツ

いん

たさ







やっぱりお兄さんには  
私1人を選んで欲しいな…



# 次回最終回

大も...!!

あとかき

ここまで読んでくれてありがとうございます！  
いよいよ種沢姉妹物語も次回で最終回かな...！  
お兄さんはどちらを選ぶのか...はたまた！

次のページからはFANZA用に描き下ろした  
イラストになります！  
お楽しみいただけたらうれしいです～！

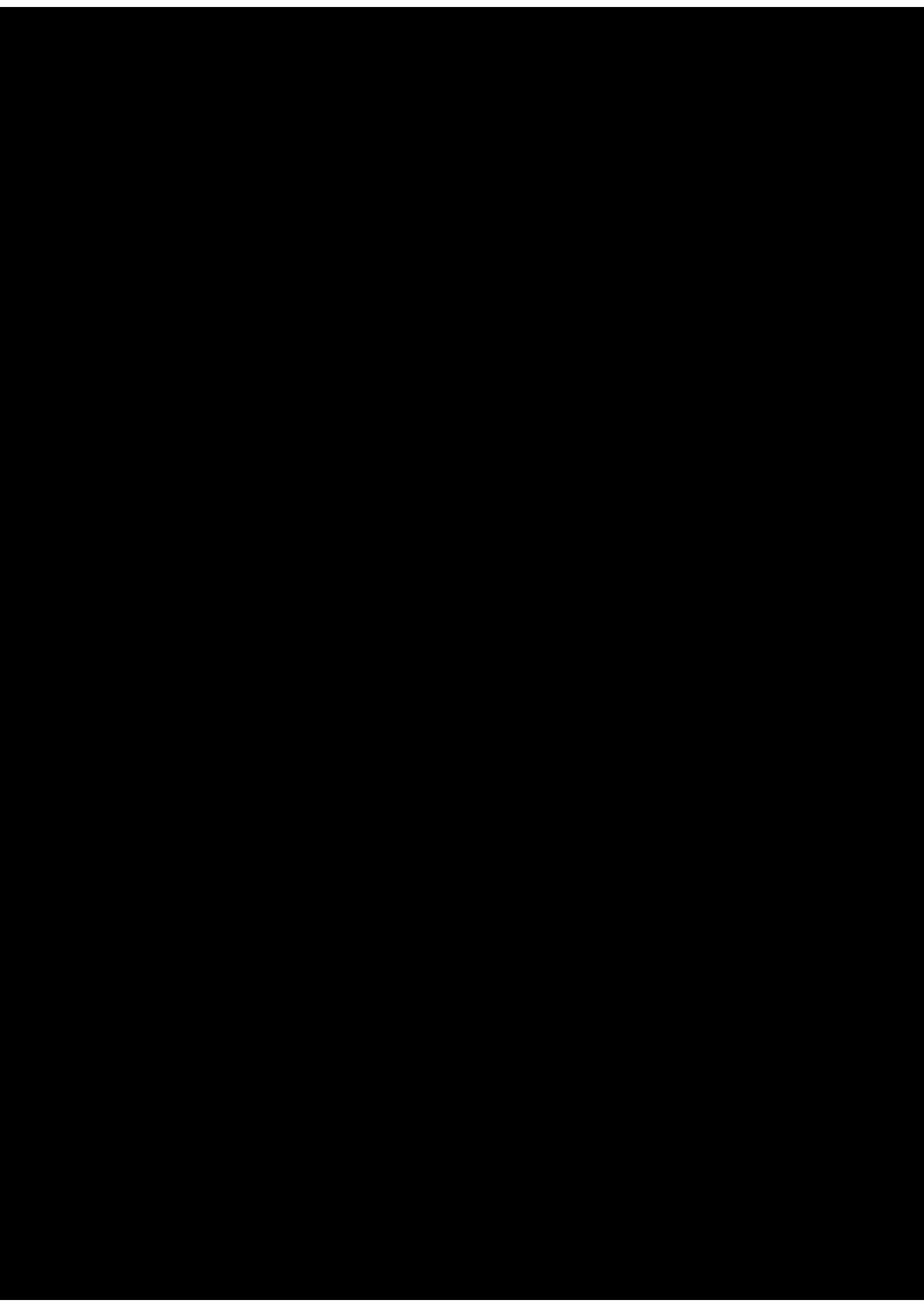


描いた人：ろうか

手伝ってくれた人：さかなくしゅん  
おやすみまん

ありがと〜!!

感謝しかねえ



「……これを着ると仰ったのは、お兄さんですよ？」  
「正直に言えば……とても着たくはありませんでした。ですが……命令でしたので」  
「……視線がいやらしくすぎます。気持ち悪い」

もじ

せら



「……はあ……。やっぱり変態ですね。お兄さんって」  
「……でも。……その、少〜んらいなら……言えたらただけのもの、悪くなら……かもしれません」  
「だから……今日は、特別に……少〜しだけ、従ってあげます。……貴様、なみこっていただけませんか」



「っ、な、なんですか  
この体勢……いきなり脚を持ち上げるなんて……」

「っ……はあ……この角度  
……奥まで、ずんずん当たって……」

ぎゅ

びゅん  
びゅん  
びゅん



「……これも、命令……ですから。  
わたしに拒否権など……最初からないのでしょう?」

「……っ、はあ……っ。ちよつと……休ませていただけませんか  
……これは……さすがに……っ」

オー  
ン  
ッ  
ハ  
ン  
ッ

ハ  
ン  
ッ  
ハ  
ン  
ッ

オ  
ー  
ン  
ッ  
ハ  
ン  
ッ  
ハ  
ン  
ッ  
ハ  
ン  
ッ



「やっぱりこれ、エッチすぎたかなあ……」

「だってーだってね？可愛いって思ったんだもんー  
ゴムのキラキラを、胸のゴムもキラキラを  
……ゴムのゴムの、お兄さん好きだよね？」



むちむち  
♡ち♡

♡ち♡  
♡ち♡



「うっっっ、まも……めちやんちや視線感じる……は、恥ずかしい……」

「はあ……まも、もう脱がないからね？」

「これ着るのめっちゃ勇氣出したんだからー！」

「よーっっ、今日は……がんばっちゃうからね♡」



「んふふっ……♡今日はえっちなどキニを着た  
わたしが…いっぱい気持ちよくしてあげるねっ」  
「ううん、大丈夫。ちゃんとリードしてあげるから。  
優しく、ゆっくり、おまんこできゅゅっ♡……ねっ」  
「……はあ……はあ♡ねえ、見てくれたんか？」  
わたしのどとど……ちゃんと感じてくれたんか？」

ぽんぽん♡  
おまんこ♡

ぽんぽん♡  
おまんこ♡

ぽんぽん♡  
おまんこ♡





「汗…すっぴん、ぶっぴん、もうズキズキが止まらない  
 ……全部おまんこで伝わるのさっちゃんお…♡」  
 「ねえ…もっとうっぱい甘えな  
 ぜんぶ、わたしに申しさすさ…♡」

♡おまんこ♡  
 ♡おまんこ♡  
 ♡おまんこ♡

♡おまんこ♡  
 ♡おまんこ♡  
 ♡おまんこ♡

♡おっぱい♡

♡おっぱい♡  
♡おっぱい♡  
♡おっぱい♡























「……また、こういう格好をお望みですか」

「……パニー……ですか。まったく、趣味がよくわかりません……」

「……本当に……恥ずかしいのですが。」

「……この服、胸のサイズ……まるで合っていない……」

アッ

アッ

たぶっ

たぶっ  
♡♡

♡♡





「……でも。命令でしたから。着用は、いたしました」  
「……視線がいやらしいです。  
あまり、じろじろ見ないでください。……本気で怒りますよ」

♪+♪

♪+♪

♪+♪

♪+♪

「……はあ……まさかこんなじとまどわねからなるじとま  
思っていませんでした」  
「……お騒がせであれば、仕方ありませんわね」

むぎやん  
の



「……わたしの身体で、満足いただけるのなら  
……どうぞ、お好きに……」  
「ほんとと最低ですね……」

「ただし、これ以上……調子に乗られるようでしたら  
本気で怒ります。ほらおっぴろげと射精してんだから……」

んんん

んんん

すりゅ

ずいゅ

すりゅ

ずいゅ





「あ、あのね……お見さんっ……このバニー、どうかな？」

「ちよっと頑張って選んだんだけど」

「……やっぱり、ムラムラのっ……恥ずかしらね……♡」

「……でも、今日は見てほしかったの。」

「ちやんと……わたしのっ……♡」





あせ  
っ

あせ  
っ

「……えへへ、その……ん、んん……」

ハートのシール……ずっと貼ってるん

なんかムズムズしてきちゃって……」

「……ねえ……やっぱり、剥がしても戻らないかな……？♡♡」

「お兄さんの手で……そっとう……ね……♡」

「うん……大丈夫だよ……」

「…お兄さん、わたしの中でちゃんと気持ちよくなれよ…」

「ふふっ……そんな顔しちゃって」

「かわいい♡いっぱい頑張ってるね……♡」



♡

♡

♡♡♡  
♡♡♡

♡ずぶっ♡  
♡うっ♡

M

M

「ねえ、もう無理しなくってさっさと  
そのまま、わたしの申し……ほら、  
ぴゅんぴゅん……いっただよっ！」

「ほら……  
おまんこもさーんじゅんはたね……♡」  
「安心して、  
全部ゆだねてね……♡」

「おまんこ  
さっさと  
いっただよっ！」

「おまんこ  
さっさと  
いっただよっ！」

「おまんこ  
さっさと  
いっただよっ！」

「おまんこ  
さっさと  
いっただよっ！」

「おまんこ  
さっさと  
いっただよっ！」





わっ♡

んんんんんん

んんんんんん

てんてんてんてん

てんてんてんてん







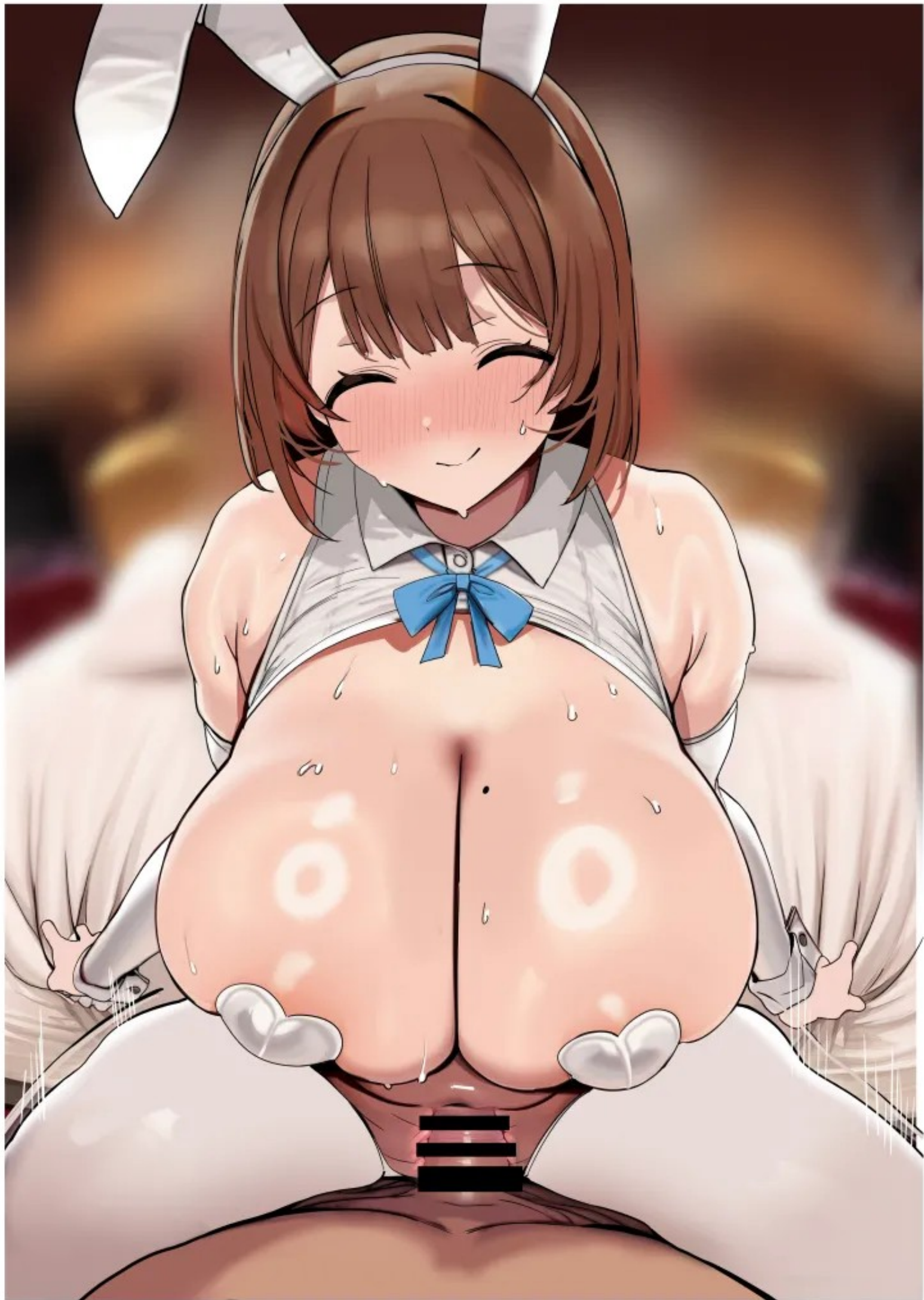


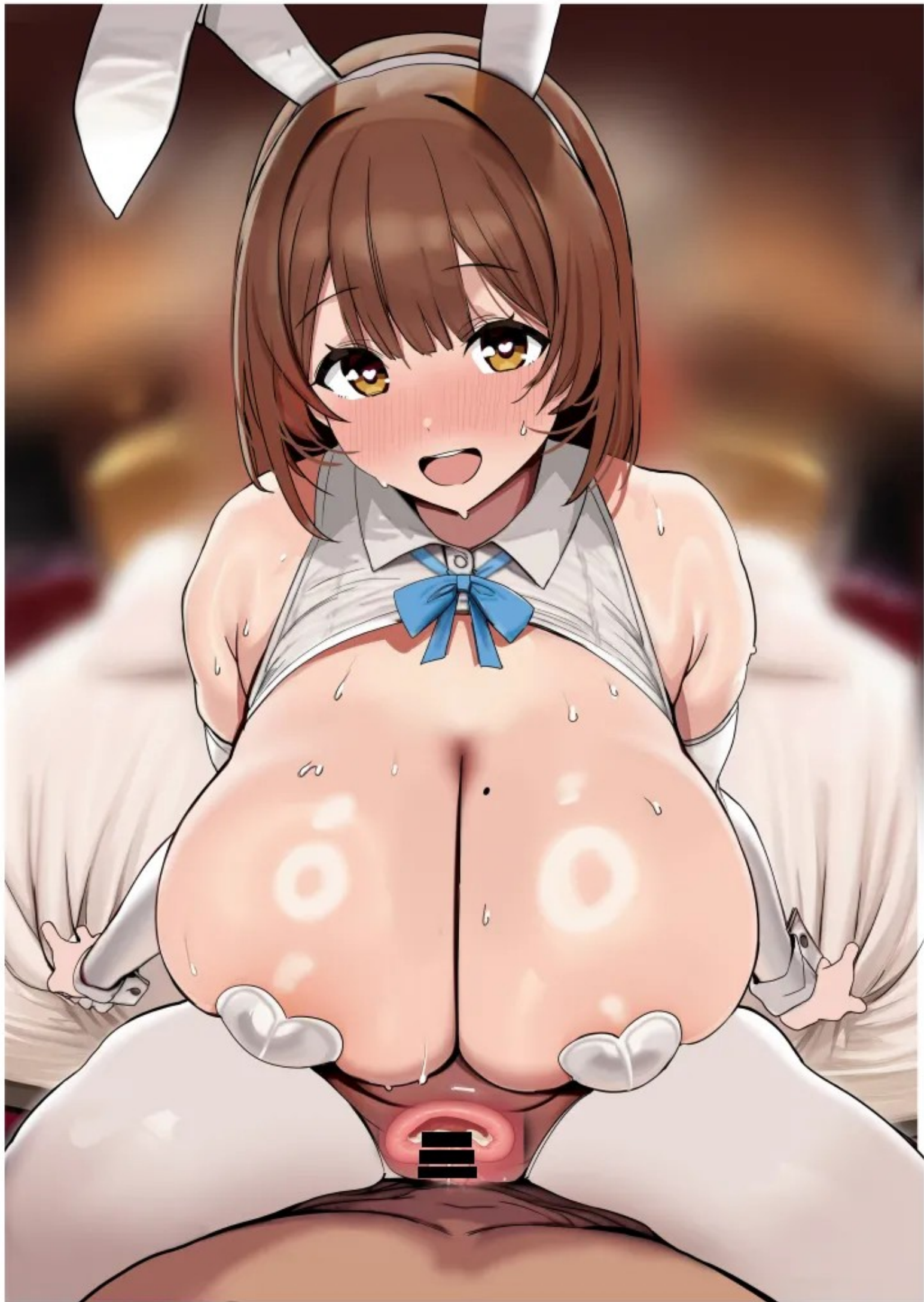












「…これは、授業で使用している体操着です」  
「なぜ、それを…こんな場所で  
着る必要があるのか、理解しかねます」

「……恥ずかしいという感情は、ありません。」

「ただ——この服装のまま、こういう場にいるんですよ……抵抗はありません」

も  
わあ……♡



「……命令でなければ、決して着ることはありませんでした。」  
「……それでも、見たいとおっしゃるなら……勝手にすればいいじゃないか。  
視線の意味は、聞きません」



「ちよつと乱暴に突きすぎッですッ」

「ぬるい空気が肌にまとわりついて生地が……貼りついて……最悪ですッ」

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

ハッ

ハッ

ハッ



「……わたしは命令に従っているだけです。  
それ以上の意味を、勝手に想像しないでください。」  
「……こんなセックススツツ…もう少し、相手への敬意というものを  
……持っていたいただきたいものですな。」

んっほお

パツッ  
パツッ  
パツッ







おっぱい

「ちゅっちゅキスス。胸のムキムキが……  
ムキムキっ……はあ、やっぱり胸がムキムキっ……」

「……でも、ちゃんと見てね……♡」

「ふたりきりのホテルで、コスプレなんて

こんなもの、お見さんじしか見せないんだから……♡」



「うふふ……いっぱい気持ちよくなってるの、わかるよ?」

「よしよし……いい子、だね♡」

「おちんちん頑張ってるの、ちゃんと伝わってるよ……」

「そんな夢中になって

わたしのこと、好きすぎでしょお兄さん?」

フッ  
フッ

おっ

おっ

おっ


パッパッ♡

パッパッ♡

パッパッ♡

パッパッ♡





「……んっ♡ 奥までいっばい当たってる  
……でも、ぜんぶ受け止めてあげるから……」  
「いっばい、甘えてっ？ わたしが、おまんこきゅーっとして  
きゅーっで締めて……ぜんぶ、気持ちよくっしてあげるから……♡」



「.....世に恥ぢるに恥ぢるに」

ヨレヨレヨレヨレ

ヨレヨレ

おっ





















「……これ、本当に着る意味があったのでしょうか」  
「……胸が……きつくて、正直かなり圧迫感があります…。  
破れたら、責任取ってくださいね」



「じろじろと、見ないでください。  
恥ずかしい、などとは言いませんけど……視線が鬱陶しいです」  
「……これで、満足したのでしたら。」  
「早く終わらせてください。……長く着ていくはないので」



あーっ

あーっ

「ほんとに……この体勢でいいんですか」  
「べ、別に……嫌って言うてるわけじゃ、ありませんけど……」

ずんずん  
ずんずん  
ずんずん

「そんなに見つめないでください。」

「ごうちは……こんな格好してるだけでも、精一杯なんですから」



「っ、だから……もう、黙っててください。何も言わないで……」  
「命令、なんでもしよっつ、だったら……わっわっ、終わらせようっ……」

おほおほ

おほおほ♡  
おほおほ♡

チ○コ

お○

お○



「えへへ……お見さん、これ見たら喜ぶかな〜って思って……持ってきちゃった♡」  
「昔、着てた競泳水着  
ちゃんと取ってあったんだよう？ ちょっと恥ずかしいけど……」

□□□

いっ♡あ♡



「ハ」

「ハ」

「……やっほ、夏のういさ、めっちゃくちゃキラキラして」

「ん、動らないうさなわいさ……」

「うせ……おん、ういさの、おまじょ……」

「わたし、ちやんをいぬんだから……♡」

「今日はお、ういさおん……」

「おん……ういさ……わたし、甘やかしてあげるから……♡」



「…んっ、ちよっと胸掴むの強いかも  
でも…大丈夫だよ♡」

「お兄さん、がんばってるもんね…  
わたしの胸が、いっぱい触ってくれて…嬉しい♡」

ぎゅ  
ううう♡

ず  
ぶぶぶ♡



「じつじつと…ほんとに、大好きって気持ちが伝わってきて胸がきゅーっになるの」

「だから…いいよ?」

「わたしはっっぱら気持ちよくなっ…♡」

「ぜんぶ、受け止めてあげるから安心しておっぱいとおまんこに甘えて…♡ねっ♡」

ずん

ずん





















